



マーケット・レポート

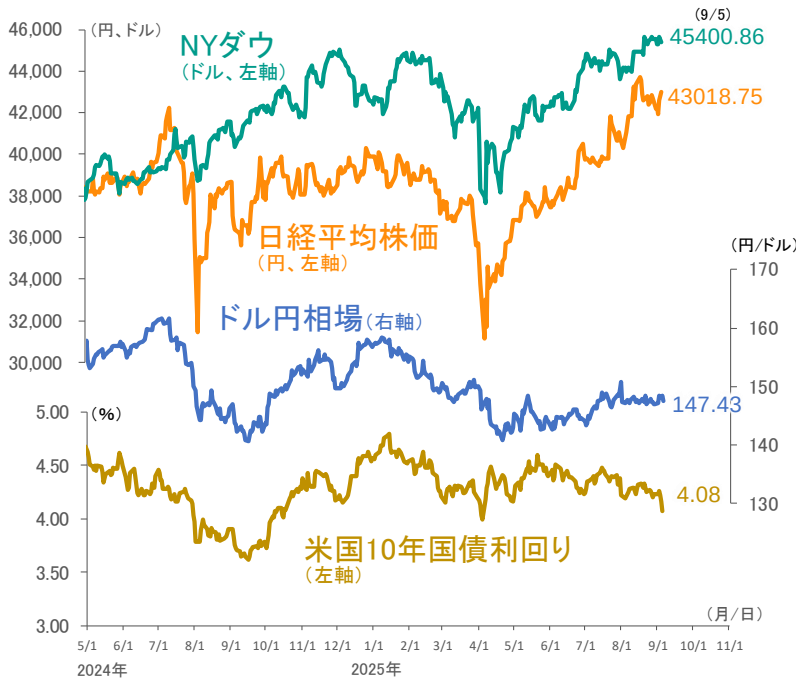
Weekly Guide

2025.9.8

りそなグループのYouTube
で、最新のマーケット情報を
配信しております！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、米雇用指標が予想を下回る弱い内容となったことから、米国の9月利下げ観測が一段と強まり、債券が買われる一方、株式は高値圏で強弱まちまちの展開となりました。NYダウは週間で▲0.3%、ナスダック総合指数は同+1.1%、独DAX指数は▲1.3%、日経平均株価は+0.7%で終わりました。10年国債利回りは、米国が前週末比▲15bpの4.08%（4月4日以来の低水準）、独は同▲6bpの2.66%、日本は▲2bpの1.58%にそれぞれ低下しました。ドル円は147円～148円を中心に横ばい圏で推移しました。

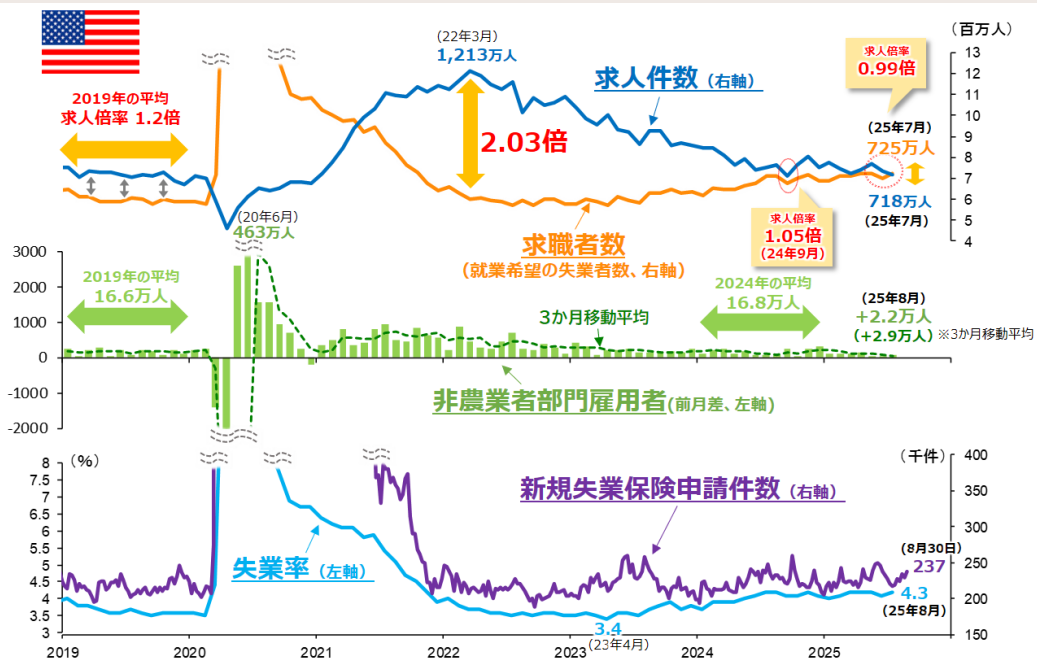
今週は、日・米物価指標、ECB理事会が注目されます。政治面では、8日にフランスでパイル内閣の信任投票が行われ、内閣総辞職の可能性が指摘されています。国内では石破首相が7日に辞意を表明し、臨時の自民党総裁選が実施されることになりました。政局不安定化による財政への悪影響が意識され、世界的に長期金利の上昇につながらないか、注視する必要があります。

当面の注目イベント

- ◆米・NY連銀消費者期待インフレ率（8日）
- ★米・8月NFIB中小企業楽観指数（9日）
- ◆米・8月PPI（生産者価格指数）（10日）
- ◆日・8月企業物価指数（11日）
- ◆欧・ECB理事会（11日）
- ◆米・8月コアCPI（消費者価格指数）（11日）

★：りそな景気先行指数関連指標

先週発表された米雇用関連指標では、非農業部門雇用者数が予想を下回る2.2万人の増加にとどまったほか、求人倍率（求人件数÷求職者数）が4年4カ月ぶりに1倍を割り込むなど、米国雇用市場の軟化が示されました



【出所】Haver Analytics等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

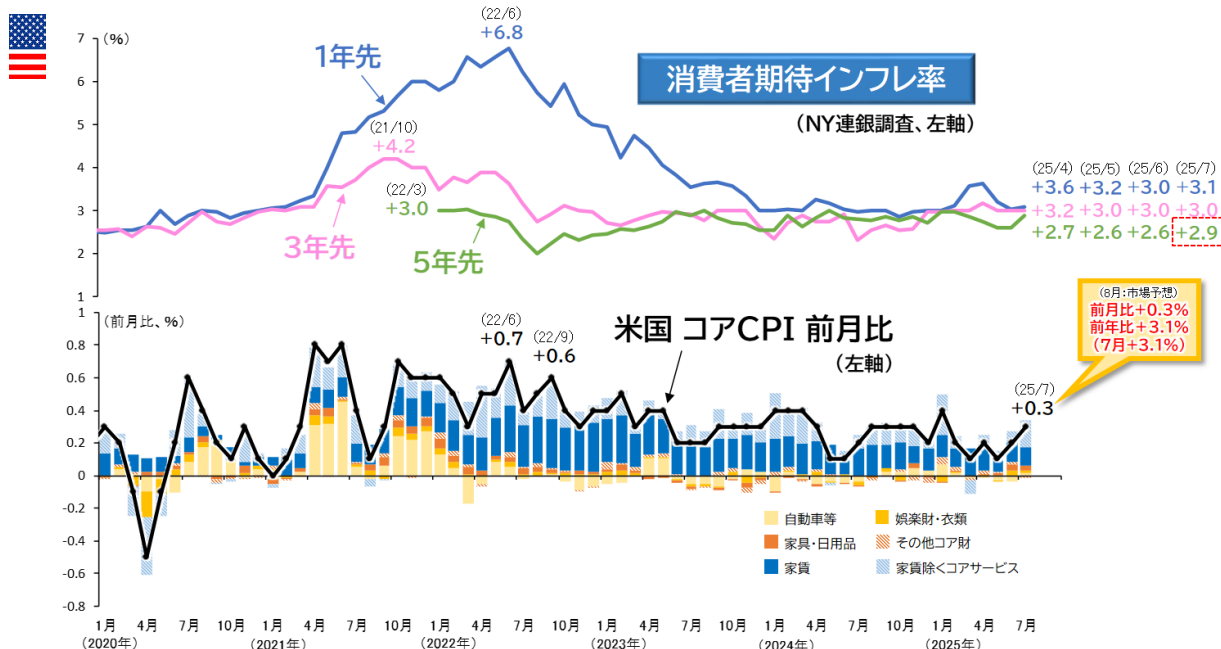
※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。



りそなアセットマネジメント

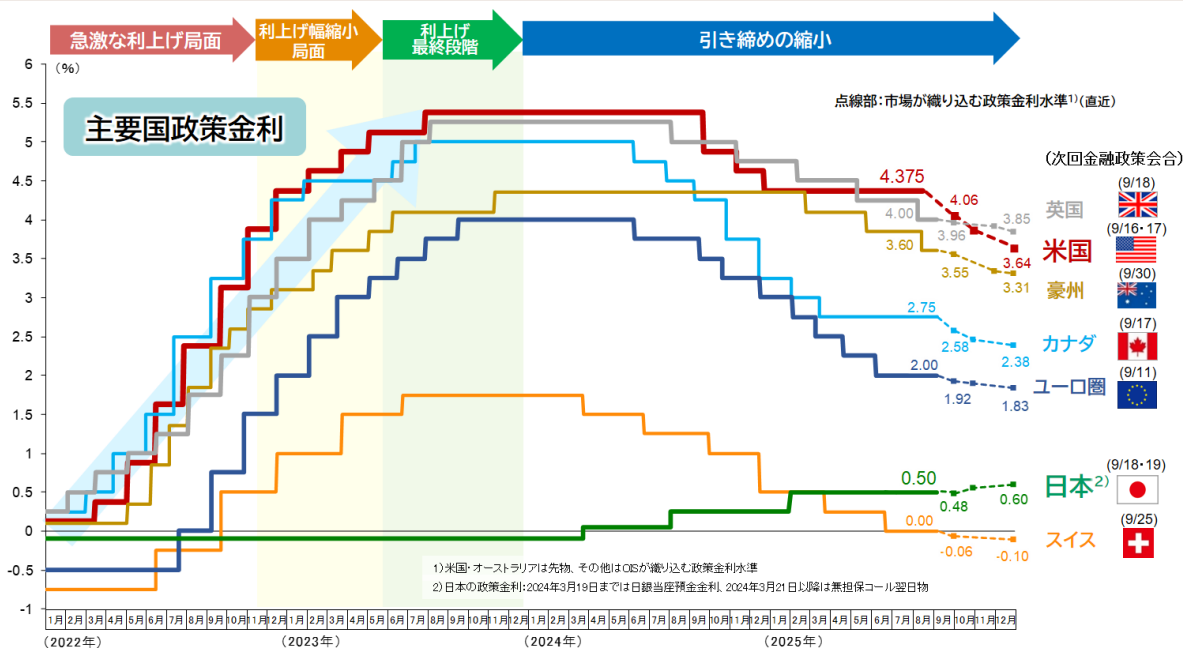
RESONA

今週は8月NY連銀・消費者期待インフレ率（8日）と8月コアCPI（11日）が発表されます。両インフレ指標が大きく上振れしなければ、来週のFOMC（16・17日）で0.25%の利下げが決定されると予想されます



【出所】Haver Analytics等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

今月末にかけて主要国の金融政策会合が相次ぎます。今週はECB（欧州中央銀行）の理事会が開かれます。足元のユーロ圏景気指標が持ち直していることから、2会合連続で政策金利は据え置かれる見通しです



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2025年9月22日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認くださいのうえご自身でご判断ください。